【資料2－1】

# 音更町第6期総合計画重点施策・第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略：施策推進管理評価調書【総括表】

R5年度

| | | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 【基本目標1】 | 地域経済を活性化させ、雇用の場をつくる【地域経済の拡充】 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 担当課 |
| | 【数値目標】（1）平均所得 2，967千円（R1）→3，000千円（R7） | 5.00 | 5.00 | 5.00 | | | 企画課 |
| | KPI（定量）・事務事業評価（定性）の加重平均 | 4.83 | 4.77 | 4.78 | | | |
| | 数値目標とKPI等（定量・定性）の加重平均 | 4.88 | 4.82 | 4.83 | | | |
| 【基本目標2】 | 移住・定住を促進し、音更への新しいひとの流れをつくる【定住・交流・関係人口の拡大】 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 担当課 |
| | 【数値目標】（1）観光入込客数 1，419，400人（R1）→1，461，000人（R7） | 2.00 | 5.00 | 5.00 | | | 商工観光課 |
| | 【数値目標】（2）社会増（転入超過）の人数（累計） 5年間（R3～R7）で173人 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | | | 企画課 |
| | KPI（定量）・事務事業評価（定性）の加重平均 | 4.57 | 4.58 | 4.68 | | | |
| | 数値目標とKPI等（定量・定性）の加重平均 | 3.82 | 4.21 | 4.28 | | | |
| 【基本目標3】 | 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちをつくる【結婚・子育て支援の充実】 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 担当課 |
| | 【数値目標】（1）出生数（累計） 5年間（R3～R7）で1，671人 | 2.00 | 2.00 | 2.00 | | | 健康推進課 |
| | KPI（定量）・事務事業評価（定性）の加重平均 | 4.73 | 4.65 | 4.75 | | | |
| | 数値目標とKPI等（定量・定性）の加重平均 | 4.04 | 3.98 | 4.06 | | | |
| 【基本目標4】 | ひとが集う、安全・安心で快適に住み続けられるまちをつくる【まちの魅力化】 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 担当課 |
| | 【数値目標】（1）町民の定住意向 83．8％（R1）→91．0％以上（R7） | 4.00 | 5.00 | 5.00 | | | 企画課 |
| | KPI（定量）・事務事業評価（定性）の加重平均 | 4.62 | 4.78 | 4.85 | | | R5年度 |
| | 数値目標とKPI等（定量・定性）の加重平均 | 4.47 | 4.84 | 4.89 | | | |
| 全施策の推進状況の総合評価（基本目標1～4における数値目標とKPI等（定量・定性）の加重平均）の平均 | | 4.30 | 4.46 | 4.52 | 0.00 | 0.00 | 4.52 |

| 評価区分 | | | |
|---|---|---|---|
| | A 順調に進んでいる (4.80～5.00)<br>B 概ね順調に進んでいる (4.50～4.79)<br>C やや遅れている (4.00～4.49)<br>D 遅れている (3.50～3.99)<br>E 大きく遅れている (0～3.49) | B | 概ね順調に進んでいる |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 推進状況 | 基本目標2及び基本目標3の数値目標である社会増の人数や出生数が評価基準値を下回ったことなどにより一部の点数が低い数値となっているものの、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより令和5年度の平均所得や入込客数が評価基準値を上回っており、基本目標ごとのKPI（定量）や事務事業評価（定性）評価の上昇につながっている。<br>この結果、各基本目標やそこに掲げる施策の評価はおおむね順調に推移しており、全施策の推進状況の総合評価点数も、昨年度より上昇し、全体評価も、C評価からB評価（概ね順調に進んでいる）となったところである。 | 評価結果 | 別紙のとおり |

別紙

# 音更町第6期総合計画重点施策・第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略：施策推進管理評価調書【総括表】 評価結果

基本目標1

【担い手、労働力の確保】

○ 農業や畜産関係の大学に通う学生に対しても新規就農支援の働きかけがあると良いのではないか。

○ 都会に住む人たちへも新規就農に関して情報を提供する場があると良い。

○ 10年後、後継者が少ないことを危惧しており、第三者継承で新規就農ができれば良いが、畑作大規模経営や酪農関係で継承しようとした場合、財源がないと新規就農は難しいと思う。他の町では離農した農家さんの土地を農協が買い取り、新規就農者へ貸しているという話も聞いたことがある。将来的にはそういったことも考えていかなければいけないと思う。

【農商工観連携の推進】

○ 町内の食材を使って作られるおとぷけ給食が町内の小中学校で提供され、家庭でも話題になるが、大人も給食のメニューを期間限定のような形でも道の駅や飲食店などで食べられる機会があるとうれしい。

○ 昔はきなこねじりがお茶請けなどに出てきたが、最近お店で見かけにくい。懐かしさから年齢層が上の人からも人気が高いのではないか、また風味が良いので、リピート率も高いと思う。

○ 他商品の話だが、普通のきなこねじりだけではなく抹茶を使ったものもある。最近、各地の道の駅でもきなこの商品を販売しており、例えばブロッコリーで何か商品を作るのも面白いのではないか。

○ 音更町は全国でトップクラスの原料生産拠点であるが、加工は他地域で行われている。なるべく近くで加工できる体制がとれるよう進出企業などの誘致を積極的に進めていただきたい。また、町内に限らず十勝の事業者と積極的にコンタクトをとり、地元での加工を増やしていただきたい。

基本目標2

【ホームページの充実、インターネットの活用】

○ 公式LINEを通して情報がたくさん届くので若いママさんからも評判が良く、道の駅イベントなどLINEの配信を見て行っている人も多い印象。色々なところで活用されていると思う。

○ 公式LINEを使って住民票などの発行申請を行った場合、申請書類の郵送代はかかってしまうものの、自宅で全て手続が済むということや、出張先で書類が必要となった場合などに便利な仕組みだと思う。

○ LINE上で広報紙が見られるのは良い。中には、紙で広報紙を読みたい人や公式LINEへの登録をしていない人もいると思うが、LINE上で広報紙を見ることができるということをもっと周知すると紙の削減にもつながるのではないか。

○ 災害情報の拡散など防災面においてもLINEを活用したら良いのではないか。

○ 町内に在住している外国人の国籍の中で一番多い国がベトナムと聞いているが、ホームページの多言語対応にベトナム語を入れても良いのではないか。

【空き地、空き家の有効活用】

○ 町のホームページなどで空き地や空き家物件が掲載されているが、その他にも年度末のような人事異動が多くなる時期の前に全国的に転勤のある企業等に対して物件情報や補助事業の周知があると道外から引っ越してくる人にとっても参考になるのではないか。

○ 最近は新築物件の価格が4,000万円を超えるため、中古物件の購入に移行している認識である。
空家活用定住促進事業は非常に良い制度と思うが、中古物件へ移るに当たって、引っ越しの費用も膨大にかかってくることから、そういった手当があるとより使いやすいのではないか。

○ 音更町は幸い住環境や商業施設などにも恵まれており、音更町を含む帯広圏1市3町は、民間取引での空き家等の流通が比較的順調に進んでいる。そのことが空き地・空き家バンクの登録件数の減にもつながっていることから、これらの件数が少ないことを否定的に捉える必要はないのでは。

○ 老朽危険空家等除却事業補助金について、最近の住宅の解体費用が100～200万、アスベストが入ってくると300万といった情勢を踏まえると多少、補助の上限を引き上げていくのも必要ではないか。

○ 特定空家等に認定されている空家等のうち除却済みではないものが現在4件あり、毎年町の職員が目視を行っており、今すぐに倒壊するものはないとのことだが、第3者に危害が及ぶような状況になる前に除却してもらえるよう引き続き所有者への指導を継続していただきたい。

基本目標3

【母子保健の充実】

○ 乳幼児検診の未受診の理由のほとんどが保護者側によるものと理由が明確になっており、その後も個別訪問により状況の把握ができているため、現状の乳幼児健診の受診率の数値に、個別に対応された分も反映しても良いのではないか。

○ 保護者から健診の時間帯についての声が多く聞こえてくる。健診を行う先生の都合上、どうしても健診は病院が休診となる午後の時間帯になっている状況と考えるが、その旨の事情説明があると保護者も納得するのではないか。

○ 町外の人からも音更の事業は丁寧に見てもらえるとすごく評価が高い。

【保育サービスの充実】

○ 1歳児からだと一時的に子どもを預けられる施設があるが、0歳児はそういった施設がなく、近くに親族がいないと、具合が悪くても自分が子どもを見なくてはいけないという保護者もいる。
新たな施設整備の問題もあると思うが、生後6か月以降のお子さんも一時保育が利用できるよう検討していただきたい。

○ 既に園児の登園管理や保護者との連絡にタブレットを使用しているが、保育士の負担軽減や保護者の利便性向上の観点から引き続きICTを活用していただきたい。

○ 月1回土曜日に開放している子育て支援センターが1か所あるが、その他のセンターでも土曜日の利用に関するニーズがあるため、同様に実施できないか、支援センターと協議していただきたい。

基本目標4

【コミュニティバスと農村地域予約制乗合タクシーの利便性向上】

○ コミバスのフリー降車の利用実績がバス会社によって違いがあるが、利用実績の差が少ない方が良いのではないか。

○ 現状、コミバスの運行は市街地のみとなっているが、農村部からも気軽に市街地に来れるような移動手段があれば良いと思う。

○ 路線バスとの兼ね合いがあると思うが、コミバスを利用して目的地へ行くまでの乗車時間が長いと感じるため、もう少し短い距離で移動できるようなコースがあると良い。

○ 外国人もバスを利用できるように外国人向けにバスの乗り方教室があると良い。

○ コミバスのフリー降車制度がスタートしたが、フリー乗車については、他の自治体において突然手を挙げる人や道路の反対側で待つ人がいるなどの話を聞いたことがある。バスが突然止まらなければいけない危険な状況になるため、フリー乗車の導入は難しいのではないか。

○ AIを使ったデマンドバスの導入を行っている自治体がある。現在のコミバスについて、運行方法に関する見直しを進めるとともに、デマンドバスの導入についても研究していただきたい。

○ 町民アンケートや町内会単位のまちづくり懇談会などにおける意見の中で、暮らしに満足されている方の意見だけではなく、反対に満足されていない方の意見も反映させてほしい。

○ 夕方の通勤時間帯にもコミバスが運行していると、車を使わずに通勤が可能となるため環境にも優しいのではないか。

○ 時間帯によってコミバスの席が満席になることがあるため、増便についても検討してほしい。

○ 運転免許証を返納するかどうかは自主的な判断になると思うが、返納された方はコミバスや乗合タクシーを利用してほしい。

【高齢者の社会参加、生きがいづくりの促進】

○ ふれあい住宅のうち、学生向けの部屋が埋まっていないのが課題とのことだが、物価高騰の影響で一部家賃も上がっている中、この価格でエアコンやWi-fi設備を備える物件は他にはないのではないか。

○ 部屋が埋まらないのであれば、高校生への提供も良いのではないかと思ったが、令和7年度は全部屋埋まる予定と聞き、大谷短期大学の積極的なPRや室内のメンテナンスなど、働きかけの成果が出ていると感じる。

○ これまで自分の家では教わっていなかったようなゴミ出しのマナーを高齢者から教わる学生もいるので、学生側の生活も改善していくと良いと思う。その反面、全く知らない人との生活が少しストレスになってしまう学生やオール電化を希望する学生もいると聞いている。

○ 「高齢者顕彰費」事業における80歳の人への写真の贈呈については、喜ばれる人がいる一方で、写真ではなくデータを希望する人や年々希望者が減っていること、一部トラブルが発生することがある状況から、コスト面も考えると、対象者の人が現金支給を望むのなら88歳同様に現金支給の選択肢があっても良いのではないか。

○ 老人クラブや老人大運動会など「老人」という響きに抵抗がある人も中にはいると思う。

○ 老人クラブと町内会の減少については、役員のなり手不足や会員の高齢化、事務負担の問題から本町だけではなく全国的な課題となっているが、高齢者の社会参加や健康維持にとっては、なくすことにはならないのではないか。